令和6年度 見附市立今町中学校 学校たより



石の門

<第4号> 令和6年6月27日 TEL 66-2371 FAX 66-6846 ホームページは「今町中学校」で検索 E-mail imachu@mitsuke-ngt.ed.jp



人間の習性

校長 星野 晴重

「ボーっと生きてんじゃねーよ」で有名な某テレビ番組の今年4月の放送で「なんで他人の目が気になっちゃうの?」という問題がありました。その時の答えは「石器時代を生き抜くため」でした。現在の人間の習性の多くは、人類の歴史の99%以上を占める石器時代に身に付いたものだからです。ということは、他人の目が気になるのは、人間であれば皆、そうだということです。似たような人間の習性にネガティブバイアスというものがあります。これは、人はポジティブな情報よりもネガティブな情報に注意を向けやすく、記憶にも残りやすい、というものです。例えば、物事がうまくいったのに、一つの失敗があるとその失敗の方の印象が強く残ったり、過去の記憶も楽しい出来事より辛い経験の方が残ったりという具合です。人間は、元来、ネガティブな動物だということです。ネガティブというとマイナスイメージですが、厳しい石器時代にあって、過去の失敗を生かし、未来の不安に備えるなどして、人間が身を守り、生き延びるために身に付けてきた大切な習性なのです。

人間が、失敗にくよくよしたり、先のことを心配したり、人の目を気にしたりするのは、人間の習性であり、仕方ないことです。「気にしないで」とか「ポジティブに考えよう」とアドバイスされますが習性なのでそんなに簡単に気持ちや考え方は変えられません。私もそういう人間で心配性だと思っていますが、そういうものだと受け入れるようにしています。しかし、過度に悩んだり不安がったりするのはよくないと思っているので、ここで対処法を2つ紹介します。

- 1 幸せホルモンと言われるセロトニンを増やす。 (これについては、よく言われることなの で興味のある方はインターネットで検索してみてください。)
- 2 笑う、笑顔でいる。昨年のいじめ見逃しゼロスクール集会でアルビレックス新潟チアリー ダーズの方と「元気 勇気 笑顔」の合言葉のもとチアダンスを楽しみました。「幸せだか ら笑顔になるのではなく、笑顔だから幸せになる」。人の性格や考え方は簡単に変わりませ んが、態度や表情を変えることの方ができそうです。ネガティブな考えや悩み、不安があっ ても笑顔や上機嫌でいることで自分の気持ちが明るく前向きになるのかなと思います。

気分も滅入りがちな梅雨時、そんなことを考えました。

熱戦! ~中越地区大会結果~

中越地区大会が、6月7日のバレーボールを皮切りに22日まで行われました。今町中学校の選手たちは、これまでの練習の成果をもとに、持てる力を存分に発揮してきてくれました。県大会出場を決めた女子ソフトテニス、水泳の選手にはさらなる活躍を期待しています。県大会は、7月13~15日に行われます。また、中越地区吹奏楽コンクールが、長岡市立劇場にて7月20、21日に行われます。今町中学校の演奏は21日です。



【中越地区大会激励会6月4日】

【男子バスケットボール】(6月11日)

今町中 59-33 小池中 勝 今町中 55-83 大崎学園 負

【男子ソフトテニス】 (6月8日)

○団体戦

今町中 0-3 燕吉田中 負

○個人戦

1回戦敗退

【卓球 (男子)】(6月18、19、22日)

○団体戦

<予選リーグ>

今町中 3-0 三条四中 勝

今町中 3-2 燕北中 勝

今町中 3-0 三条二中 勝

<決勝トーナメント>

1回戦 今町中 0-3 燕吉田中 負

代表決定戦 今町中 2-3 見附中 負

○個人戦

北ブロックベスト 16 で

決定戦に進出するも1回戦敗退

【陸上】(6月15日)

男子 100m · 1500m 予選敗退

【バドミントン】(6月18、19日)

個人戦 男子シングルス、女子シングルス1回戦敗退

【女子バレーボール】(6月7日)

今町中 0-2 燕中等 負

今町中 0-2 本成寺中 負

【女子ソフトテニス】(6月8、12、13日)

○団体戦

今町中 2-1 弥彦中 勝

今町中 2-1 大和中 勝

今町中 1-2 燕中 負

代表決定戦

今町中 2-0 関原中 勝 県大会出場

○個人戦

5位 **県大会出場**

【水泳】(6月18、19日)

男子 100m バタフライ 3位

男子 200mバタフライ 1位

女子 200mバタフライ 6位

女子 100m 背泳ぎ 8位

女子 200m 背泳ぎ 5位

以上**県大会出場** 県大会代表

【野球】(6月12日)

見附クラブ 5-7 堤岡中 負

マイ・タイムライン学習会





す。災害発生時の『逃げ遅れゼロ』を目指し、率先して安全を確保するための行動ができるようになることを目的としています。授業では、ハザードマップの見方や警戒レベル・避難情報・避難行動の関連を学び、実際に自分の住んでいるところがどういう地域なのか確認しました。その後、避難の準備や避難時の注意点を班ごとに話し合い、発表しました。